

2019年 第66回応用物理学会春季学術講演会

2018年度講演会企画・運営委員長 筒井 一生

春季学術講演会が、2019年3月9日(土)～12日(火)の4日間、東京工業大学大岡山キャンパス(東京都目黒区)で開催されました。

今回の総参加者数は6729名で、昨年春と比べ458名の減少となりました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

講演件数は、29のシンポジウム、14の大分類と3つの合同セッションならびにフォーカストセッションの合計で3829件でした。内訳は、口頭発表2622件、ポスター発表1207件です。大分類別の投稿件数割合は図1をご参照ください。

登壇者の所属を基に投稿機関数を分類すると、大学関係82.8%、企業7.2%、研究機関9.4%、その他0.6%となり、前回春(早大)と同程度でした。

今回から、インダストリアルチャプターが中心となってフォーカストセッション「AI エレクトロニクス」を立ち上げました。また、合同セッションN「インフォマティクス応用」も新設しました。どちらも初回にもかかわらず立ち見が出るなど多くの聴講者を集め、活発に議論されました。

このほかにも、特別シンポジウム7件、分科企画・公募シンポジウムが22件企画され、いずれも現在ホットな話題や重要になりつつある話題を取り上げており、最新の話題が短時間に理解できることから、各会場盛り上がりを見せておりました。

特別シンポジウムでは、インダストリアルチャプターが企画した「急加速する“クルマの電動化”～電池・パワー半導体・モータとシステムの協調開発～」、「インフォマティクス活用の時代」と「研究者を幸せにする環境とは一日本の研究力を最大化するために」はそれぞれ250名を超える聴講者を集めました。また、昨年春に引き続きシリコンテクノロジー分科会システムデバイスロードマップ委員会(SDRJ)が企画した「異種領域融合のイノベーションを探る、国際システ

ムデバイス技術ロードマップ(2019)」は、およそ200名の聴講者を集めました。

今講演会も例年同様、口頭講演、ポスター講演のほかに、基礎から応用までを短時間で学べるチュートリアルを5件実施しました。中でも、渡辺英治氏(基礎生物学研究所)を講師として開催した「ゼロから始めるAI実験」は、全ての席が埋まるほどの活況となり、注目の高さが証明されました。

今回で13回目となる“Poster Award”では、選考対象のポスターを慎重に審査した結果、26件をPoster Awardとして選定し、PB会場(屋内運動場地下1階武道場)に受賞ポスターを掲示いたしました。また、講演会のTwitterに受賞者の写真を掲載しておりますので、是非ご覧ください。ご協力いただきました方々には大変感謝するとともに、次回も投票にご協力くださいますようお願いいたします。

また、「第13回JSAPフォト&イラストコンテスト」を屋内運動場1階にて実施しました。今回は13件の応募があり、いずれも芸術性を踏まえて、意外性、偶然性ありのすばらしいワンカットで多くの参加者の注目を浴びていました。この企画では、講演会参加者の投票により、最優秀賞1作品、優秀賞2作品が選ばれました。受賞作品はHPに掲載しておりますので、ご覧ください。次回の応募をお待ちしております。

講演会の企画運営では、引き続きITの積極的な活用にも注力しています。スマートフォンやタブレットに対応した講演会アプリはセッションのスケジュール管理や予稿PDFの閲覧・ダウンロードなど便利な機能をご利用いただけます。また、TwitterやFacebookなどのSNSも積極的に活用しています。フォロワー数1000人を目指し、応物非公式キャラクター「たぬぼん」が面白おかしく講演会情報を発信していますので、こちらもご注目ください。



チュートリアル「ゼロから始めるAI実験」の講演風景

今回の講演会は、東京工業大学、慶應義塾大学、東京都市大学を中心とした現地実行委員会による準備とアルバイトの学生さんたちのご活躍のおかげをもちまして、全ての行事を滞りなく進めることができました。現地実行委員長の水本哲弥先生をはじめ、現地実行委員会の諸先生には深く感謝申し上げます。また、今回ご協力いただいた関係者の方々に、厚く御礼申し上げます。

9月18日から北海道大学札幌キャンパスにて開催する秋季学術講演会は、参加者に喜んでいただける企画を検討しておりますので、皆様の登壇および参加をお願い申し上げます。

また、初日に大学食堂で行う懇親会は、北海道ならではの食材やおいしいビールを用意する予定です。ご期待ください。

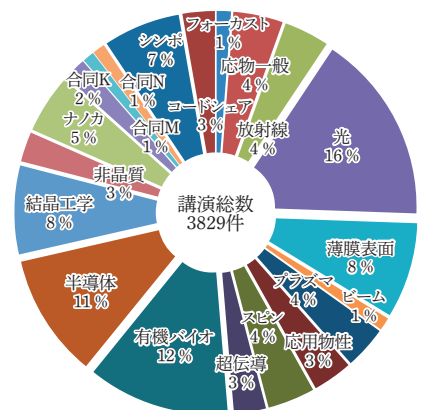


図1 第66回応用物理学会春季学術講演会分科別講演件数割合。各大分類の値には若干の誤差があります。